

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マザーズ野洲		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・工夫しているところは、スペースに合わせた人数制限をしている為、児童生徒は伸び伸びと過ごす事が出来ているところ ・学習や活動スペースを分けている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・工夫しているところは、児童に合わせて1対1対応する児童など児童の課題に沿ってスタッフの対応を連携し、対応しているところ ・個人の課題に合わせた学習準備		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・工夫しているところは、バリアフリー化されたおり、学習するスペース、余暇や活動するスペースに分けている為、児童や生徒がうまく切り替えられる環境になっているところ		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	工夫しているところは、整理整頓をスタッフ、児童共にきちりしているところ。また、清掃、消毒は毎日行い、心地よく過ごせる環境を徹底しているところ。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・工夫しているところは、静養室は設けられており、テーブルと椅子、簡易の布団が置いてあり個々の児童生徒に応じた静養をする場所になっているところ ・静養室やパーテーションを使い個人スペースを確保できる		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・朝会にて情報共有 ・工夫しているところは、目標設定と振り返りをどの職員が同じレベルで的確にできるようにマニュアルが設けられているところ ・日々の報連相や会議など		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・朝会にて情報共有 ・工夫しているところは、評価を話し合い、改善しているところ ・送迎時などで相談された内容職員間で共有し改善策を考えている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	日々のコミュニケーションや相談しやすい環境		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者の評価を誰に依頼するか検討し進めていく必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・工夫しているところは、定期的に療育テストを実施したり各担当者が研修を受講したりするなどしているところ ・毎朝の会議や野外研修など		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・工夫しているところは、担当者により支援プログラムを随時更新し、児童生徒の保護者に利用時にその都度どのような支援をしたかを文章で連絡しているところ ・半年に1回更新し、その後職員間で共有している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	工夫しているところは、児発管により半年に一回保護者・児童生徒面談したのち、見直しし、文書作成して保護者児童生徒にお知らせしているところ		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・工夫しているところは、児発管により職員会議を更新の都度実施し、職員間の共通理解し児童生徒の対応に当たっているところ ・職員間で情報の提供や共有をしている		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	マザーズ野洲		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	工夫しているところは、計画書の更新の際、その都度職員会議により共通認識しているところ	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	工夫しているところは、計画書に詳細が書かれておりそれを常に頭に入れて対応、また児発管の指導により的確に対応しているところ	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・工夫しているところは、児発管により的確に設定されているところ ・保護者だけでなく本人のニーズも支援内容に組み込まれている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・体系化された療育プログラムの理解と活用 ・工夫しているところは、各チームによりプログラム立案されているところ	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・工夫しているところは、毎月反省会をしており訂正修正をしているところ。また3年に一度内容の変更をしているところ。 ・担当で会議などし考えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・工夫しているところは、児童生徒に応じた個々に合わせた支援が行われているところ	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	工夫しているところは、児発管指導によりその日の担当スタッフから支援内容の説明があり分担、チーム連携で支援が行われているところ	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・毎回ではないが、工夫しているところは、必要に応じて担当が児発管指導を受けたり職員の話し合いをしたりしているところ ・送迎等でその日にできない時は次の日の朝礼等で共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・連絡ツールアプリケーションの活用 ・工夫しているところは、毎日課題支援内容を記録しているところ。また課題内容以外の内容も必要に応じて記録しているところ。 ・基本その日の終業時までに支援目標を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	工夫しているところは、児発管により定期的にモニタリングし、見直しをおこなっているところ	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	工夫しているところは、児発管により複数組み合わせをし、支援をおこなっているところ		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	工夫しているところは、工作や学習など自分の意見を出せる環境作りをしているところ。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	工夫しているところは、児発管が必ず参加しているところ	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・全機関とは言えないが必要に応じて ・工夫しているところは、学校や保険関係個所と連携を取れているところ	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・工夫しているところは、保護者と連携を密にしているところ ・送迎時や年に1回ほど学校訪問し情報交換している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	工夫しているところは、学校と連携を取っているため就学前の内容はそこから把握しているところ	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		該当するケースがないため、今後出てきた場合は実施していく。

事業所名		マザーズ野洲		公表日		2025年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		情報共有は行っているが、研修等の機会は設けていないため、必要に応じて検討する。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	定期的にイベントを開催し地域交流をしている	士の関わりは十分とはいえない。→インクルージョンを意識した子供同士のふれあいの場を提供できるよう、児童クラブ職員との検討を模索していく。障害をオープンにしたいご家庭への配慮についても検討が必要。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	定期的に研修などを受けている		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	制作する場合は保護者や本児との面談の場を設けている		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0			
	40	文母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・定期的な茶話会やイベントを開催している ・保護者やきょうだいも参加ができるイベントを定期的に開催している。		
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・即職員会議を開き改善策を模索する ・苦情等があった場合は即座に対応し改善するよう動いている			
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域の行事に参加する機会は設けているが、こちらの行事に招待することはできていない。→マザーズ新聞等で周知していくようにする。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	活動でも定期的に行っている		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・おやつなど個別の容器で提供している ・保護者からの申し出を受けて対応している		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	定期的に会議を開いている		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0				